

令和2年度石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅲ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

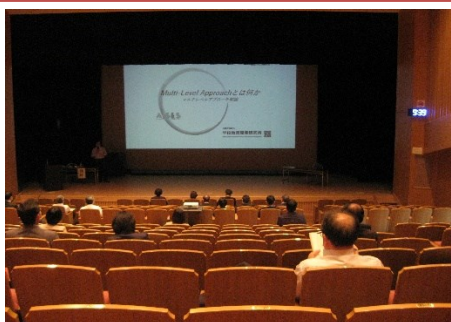
石巻市教育委員会

第1回、第2回研修会

- 日時 令和2年7月6日（月）、7日（火）9：20～
- 場所 桃生公民館 文化ホール
- 講師 広島大学大学院教育学研究科
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



今年もお世話になる栗原教授。



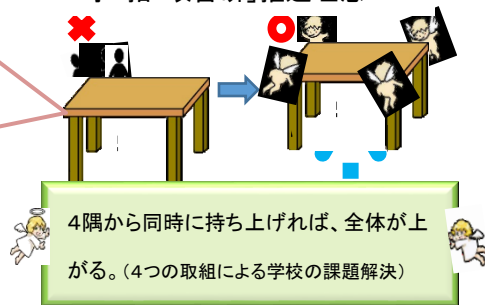
☆研修内容

- 6日午前：MLA総論（市外からの異動校長・教頭対象）
- 6日午後：MLA総論（各学校MLAリーダー対象）
- 7日午前：協同学習（各学校担当者対象）
- 7日午後：ピア・サポートにおけるSELの位置づけ（ピア・サポートまたはSEL担当者対象）

「学習指導の改善を図る研修会」とは、石巻市が平成27年度から取り組んでいる教員の資質向上プログラムです。

基本となるのはMLA（マルチレベルアプローチ）であり、①SEL（意思決定スキルアップ）②ピア・サポート（対人関係スキルアップ）③協同学習（学習スキルアップ）④PBIS（行動スキルアップ）の4つの観点で、児童生徒の自己実現を支援する取り組みです。

「学・指・改善研」推進理念



4隅から同時に持ち上げれば、全体が上がる。（4つの取組による学校の課題解決）

<受講者の声>

- ◇学級内の児童相互の人間関係の構築、教師と児童の信頼関係の構築が、学校の教育活動の充実には何より大切であることに共感した。
- ◇前任校で学力向上に取り組む際に、まずは生徒指導の機能に着目した「学びの土台作り」を行った。特に裏付けがないところでの実践であったが、今日のお話はその時の裏付けのような形で聞くことができ、現任校でも早速トライしてみようという気持ちになった。
- ◇これまで職人的資質に依存してきた部分をプログラムに基づいて全員が取り組めるようにしていくことに意義があると共感した。
- ◇教員によってMLAの捉え方や理解度がまちまちであることが課題。
- ◇月1回の職員会議を活用してMLA関係の情報交換を行っている。現在の学校の体制を生かし、教員が更に主体的に取り組めるような仕組みづくりが必要と感じた。

ソーシャルディスタンスに配慮しながら、熱心に講義・演習に取り組む先生方

